



タイトル

竹園高等学校 × つくば市 クロスカリキュラム
竹園高校生が考える「将来の自分」×「将来のつくば」
～つくば市人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略とともに～

項目(あてはまるものすべてにチェック)

- | | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> イベント・会議等の事前周知依頼 | <input checked="" type="checkbox"/> イベント・会議等の取材依頼 |
| <input type="checkbox"/> イベント会議以外の事業の周知依頼 | <input type="checkbox"/> 参加者募集の告知依頼 |
| <input type="checkbox"/> その他 |) |

全3枚(本紙含む)

<概要>

茨城県立竹園高等学校(足立仁一校長)とつくば市は、つくば市の策定した「つくば市人口ビジョン」及び「つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を活用し「地方創生」を題材とした連携授業を下記のとおり実施いたします。

「将来の自分(ライフプラン形成:家庭科, 地歴・公民科)」×「将来のつくば(まちづくりの意識醸成)」をテーマとし、今後、懸念される少子化(=人口減少)による地域経済の縮小, 東京圏への一極集中などから、『しごと』と『ひと』の好循環とそれを支える『まち』の活性化などについてグループワークから発表につなげていきます。

<これまでの経緯>【平成27～28年度】

- ・つくば市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員(つくば市中学校・高等学校長協議会会長): 井坂博子前竹園高等学校長
- ・同校の生徒とともに市内高校生を対象とした進路動向に関するアンケートを作成
- ・市内高校3年生を対象に同アンケートを実施
- ・「つくば市人口ビジョン」及び「つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を活用した「クロスカリキュラム」を実施
- ・同総合戦略の新規事業である「高校生向けライフプランを考えるための冊子配布事業」を連携して実施



記

- 1 日 時 平成29年12月13日(水) 13:30～14:25(5校時)
- 2 場 所 竹園高等学校 社会科室(管理棟 4F)
- 3 授業内容 別紙「企画書」のとおり
- 4 その他

授業風景

(1)授業風景は、撮影可能です。

取材をご希望の方は、12月12日(火)午後4時までに竹園高等学校まで御連絡願います。

(2)その他、御不明な点があれば以下の連絡先にお問い合わせください。

- ・竹園高等学校・・・取材関連全般, クロスカリキュラム・授業内容に関すること
- ・つくば市・・・まち・ひと・しごと創生に関すること

企画書

竹園高等学校 × つくば市 クロスカリキュラム 竹園高校生が考える「将来の自分」×「将来のつくば」 ～つくば市人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略とともに～

茨城県立竹園高等学校企画開発研究部
つくば市政策イノベーション部企画経営課

1 趣 旨

竹園高等学校は、各教科・各部署間、あるいは地域社会や他の諸機関との交流や接触を積極的に推進することで、「竹園クオリティ」の深化と発展に努めており、具体的な取組の一つとして、複数の教科（教員）が協力して一つの授業をつくる「クロスカリキュラム」を実施しています。

また、つくば市は、地方創生を総合的・戦略的に推進するため「つくば市人口ビジョン」、「つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、関係機関等と連携しながら魅力あるまちづくりに取り組んでおり、竹園高等学校とは、「クロスカリキュラム」等の取組を通して、計画の策定や重点事業を実施してきました。

このようなことから、今年度も、竹園高等学校とつくば市は、「将来の自分（ライフプラン形成：家庭科、地歴・公民科）」×「将来のつくば（まちづくりの意識醸成）」をテーマとして、「クロスカリキュラム」を実施し、今後、懸念される少子化（＝人口減少）による地域経済の縮小、東京圏への一極集中などの諸問題に対処する、『しごと』と『ひと』の好循環とそれを支える『まち』の活性化などについて、グループワークでの討議や発表を行います。

2 日 時 平成 29 年 12 月 13 日（水） 13:30～14:25（5 校時）

3 場 所 竹園高等学校 社会科室（対象生徒：1 年生 2 クラス 80 名）

4 授業内容（55 分）

15 分 つくば市からの問題提起

・つくば市人口ビジョン、つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要説明

30 分 グループワーク・発表

10 分 講評

5 担 当 者 （竹園高校）地歴・公民科 高濱，山崎 家庭科 星，有賀
企画開発研究部 ほか
（つくば市）政策イノベーション部企画経営課 勝村
市長公室広報広聴課シニア・コミュニケーション室 塚本

授業では、つくば市の策定した「つくば市人口ビジョン」、「つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、公民科（現代社会）や家庭科（家庭基礎）で学んだ知識をもとに、「まちづくり」という視点から考えます。生徒にとって、授業で学んだ知識を活用して地域の問題解決に取り組み、また、自分自身のライフプランと社会との関係性について考えるための好機と考えています。

(参考)

1 クロスカリキュラムの目的

竹園高校の新しい取組のテーマである“RHIZOME - Takezono Quality”～多様性が生む, しなやかな知の力～(下記参照)に基づき, 昨年度より開始した教科横断型のプログラムです。ある事象をさまざまな切り口からとらえることで, 興味・関心を高めるとともに, 知識の構造的な理解に導き, さらに, 知の世界のつながりや深まりを実感させることを目的としています。また, これまで教科の枠組みの中でそれぞれが授業に取り組んできた教員間の知的交流の促進という側面も重要な位置を占めています。

“RHIZOME - Takezono Quality”～多様性が生む, しなやかな知の力～

RHIZOME(リゾーム)は, 無数の網の目の状態に広がる, 竹やシダなどの地下茎を指す生物学上の用語であると同時に, 多様で異質なものが横断的に接続することを表す哲学上の概念でもあり, 人間の欲望や思考, 経験, 社会組織なども射程に入るメタファーである。水脈や養分を求めて地下に広がるリゾームは, 地図そのものを作り, かつ作り変え続ける運動である。天に向かってしなやかに伸びる竹は, 躍進する本校のイメージにふさわしい。しかし, その竹を育てるためには, リゾームが絡まり合い, 広がっていくことが必要不可欠である。これまでの取組の深化と発展に加えて, 普通科・国際科, 理系・文系, 各教科などさまざまな枠組みの間の連携や融合が, あるいは地域社会や他の諸機関との交流や接触が, 「竹園クオリティ」の深化と発展の原動力であると考え。リゾームを構成するキーワードは, 関係・関連(Relation), 混合・混成(Hybrid), 個性(Individuality), 強い関心・熱意(Zest), 組織(Organization), 変容・変身(Metamorphosis), 進化(Evolution)である(これらの頭文字をつなげると, RHIZOMEになる)。

2 「つくば市人口ビジョン」・「つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

つくば市では, 国の策定したまち・ひと・しごと創生に関する長期ビジョンや総合戦略を勘案しつつ, つくば市の現状や課題を踏まえ, つくば市の将来人口を展望する「つくば市人口ビジョン」とその人口ビジョンの目指す方向性を実現させるため, 5年間の具体的な戦略である「つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成28年10月に策定しています。